

新東名高速道路（下り線）における落石による事故について

NEXCO中日本（中日本高速道路株式会社、東京支社、東京都港区、支社長・高城一俊）が管理する新東名高速道路（下り線）164.3KP（静岡県掛川市大和田字宮内）で、隣接地の斜面（民間所有）からの落石が立入防止柵を破って高速道路本線に落ち、通行車両4台が乗り上げて車両が損傷（けが人なし）しました。現在、落石防止の応急対策を実施中であり当該区間付近を1車線に規制していますので、安全に注意してご通行ください。

記

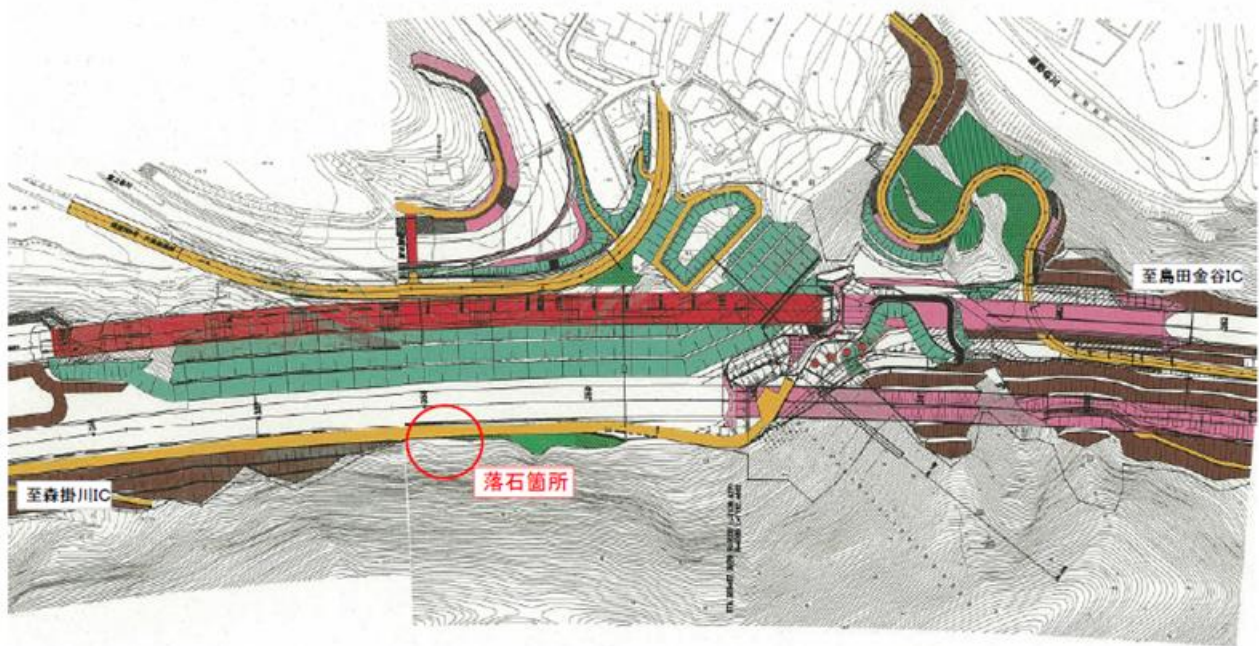
1. 発生日時 2012年4月23日（月）22時頃 （道路管制センターにお客様より入電）
2. 発生場所 新東名高速道路（下り線）164.3KP（静岡県掛川市大和田字宮内）
（島田金谷IC～森掛川IC間） 第一・第二走行車線（片側3車線の場所）
3. 被害状況 けが人なし。通行車両4台が乗り上げ車両が損傷。
4. 落石状況 80センチ程度 2個、30～50センチ程度 5個 計7個
5. 落石の原因 本線から90m程度の高さにある斜面から岩塊の一部が落下したもので、落下原因は長年風雨にさらされたことにより、岩塊が風化して一部が不安定化し剥がれ落ちたものと推定しています。
6. 現在の状況 昨日までの点検の結果、落石のあった近傍に同様の岩塊が2箇所発見され、当該箇所周辺の詳細な点検を引き続き実施しており、現在は、第1・第2走行車線を規制しています。
本線への落石を防止するための応急の対策工事として、本日から当該箇所の側道上に大型土のうを積み上げており、落石箇所近傍の同様な岩塊（4箇所）に鋼製のネット等で応急対応をする計画としています。
7. 今後の予定 当該箇所周辺の点検を速やかに完了させ、ゴールデンウィーク前までに落石防止の応急対策を実施し、車線規制を縮小したいと考えています。規制解除の見込みが立ちましたら、再度、お知らせします。
8. 写真・図面等 別添のとおり

新東名落石概略図

◆位置図



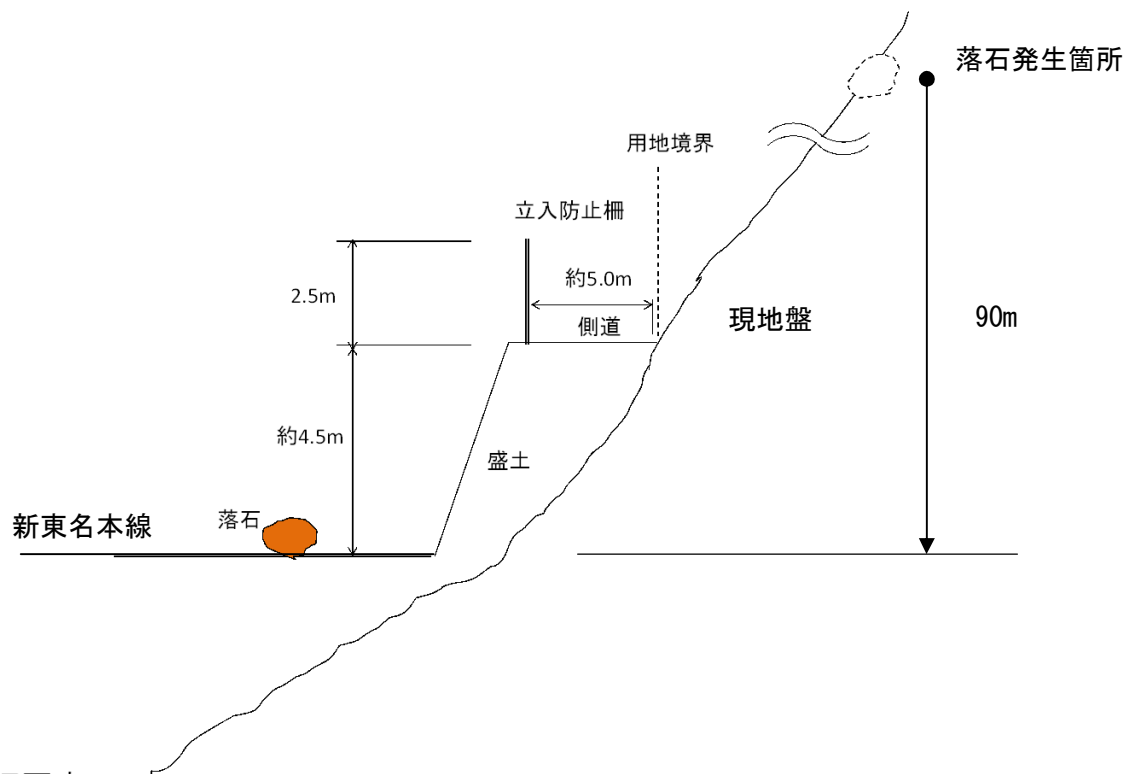
◆平面図



—凡例(平面図)—

- | | |
|--|--|
| : 盛土 | : トンネル |
| : 切土 | : 側道等 |
| : 橋梁 | |

◆横断図



◆状況写真



航空写真



立入防止柵破損状況



路面に落ちた転石

◆新東名本線から回収した転石



◆自然斜面（民間所有）の転石状況



落石があった個所の岩塊状況



落石があった個所の近傍の岩塊状況

応急対策状況図

◆横断面図

